

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月18日

計画の名称	井手町における公共下水道事業の整備計画(重点計画)												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	井手町												
計画の目標	町内公共下水道の下水道未普及地域を解消し、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	93	A	93	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30)	最終目標値 (H31末)
1	・下水道(汚水)整備進捗率を80.6%から81.9%に向上させる。 下水道(汚水)整備進捗率(整備済面積÷下水道法による事業計画面積(251.9ha))	81%	81%	82%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	井手町	直接	井手町	管渠(汚水)	新設	多賀第1処理分区未普及解消事業	VU管 200mm L=200m 舗装工事 L=200m	井手町						12	-	
		通常の下水道事業(未普及対策)																	
	A07-002	下水道	一般	井手町	直接	井手町	管渠(汚水)	新設	多賀第3処理分区未普及解消事業	VU管 200mm L=1000m 舗装工事 L=300m	井手町							53	-
		通常の下水道事業(未普及対策)																	
	A07-003	下水道	一般	井手町	直接	井手町	管渠(汚水)	新設	井手第1処理分区未普及解消事業	VU管 200mm L=60m 舗装工事 L=60m	井手町							4	-
		通常の下水道事業(未普及対策)																	
	A07-004	下水道	一般	井手町	直接	井手町	管渠(汚水)	新設	井手第2処理分区未普及解消事業	VU管 200mm L=380m 舗装工事 L=380m	井手町							14	-
		通常の下水道事業(未普及対策)																	
	A07-005	下水道	一般	井手町	直接	井手町	管渠(汚水)	新設	井手第3処理分区未普及解消事業	VU管 200mm L=70m 舗装工事 L=70m	井手町							10	-
		通常の下水道事業(未普及対策)																	
												小計						93	
												合計						93	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 井手町上下水道庁内連絡会議において実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠整備により、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る目的を達成する条件整備ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
面整備について、引続き次期整備計画を策定し、事業計画区域内の未整備区域において整備を実施していく必要がある。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	82%	当初H31に予定していた面整備をR2に変更及び流入承認に相当な時間を要したため、目標値には至らなかった。
	最終 実績値	81%	